

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズハウスのぞみ立山（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年12月12日 ～ 2025年12月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	2025年12月12日 ～ 2025年12月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが「のぞみにいきたい」と楽しみにしてくれている	大人がマンツーマンで関わり、安心感や満足感を得られることが大きな特色であり、また内発的動機付けを促す関りを意識している	主体性を尊重した関りを基盤に、こどもたちの選択や気付きをプログラムに反映する
2	保護者参観や座談会でこどもと一緒に保護者がプログラムを体験したり、保護者同志が顔見知りになる機会がある	・保護者もこどもと一緒に楽しめるようなプログラム作りと、支援のあとはプログラムの要点など説明する機会がある ・年齢や発達段階の近い保護者同士で座談会を行い、それぞれの悩みや工夫等を共有している	・継続した計画的な保護者参観の実施 ・プログラム内容の充実と間を繋ぐ支援
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	体系化したプログラムの活用	児童発達支援プログラムを毎週変更しているので新鮮さはある一方、準備負担や振り返りや気付きが十分に活かされず、支援力向上に繋がりにくい面がある	・一定期間同じプログラムを使用 ・ねらいを明確化する ・気付きや成功例を次に反映させる仕組化
2	運営規程や各種マニュアル等の周知力	運営規程や有事に備えた各種マニュアルは整備しているが、保護者が内容を確認できる機会が十分ではない	・規程や各種マニュアル等をクラウドで共有して、保護者が閲覧可能にする
3			